



編集方針・情報開示体系

編集方針

ライオンは、このレポートを「サステナビリティへの取り組みを開示し、ステークホルダーの声を取り入れながら、活動をさらに進めていくための重要なツール」と位置づけています。

ライオン統合レポート2020 サステナビリティ詳細版 編集方針

- 2011年から社会的責任に関する国際的な規格であるISO26000に沿ってサステナビリティへの取り組みの体系化を進めており、レポートもそれに合わせた構成にしています。
- サステナビリティ重要課題と当社の経営計画に合わせたサステナビリティ中期目標に対する進捗を開示しています。
- 当社の主なWebサイトは、マークとともにURLを掲載し、アクセスしやすくしています。
- 読みやすさに配慮して開発された「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています。
- 当レポートの作成にあたり、「GRIサステナビリティ・レポートング・スタンダード」を参照しています。
- 当レポートに掲載しきれなかった情報を含め、当社のサステナビリティへの取り組みについては当社のWebサイトで網羅的に掲載しています。

参考にしたガイドライン

- 環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- Global Reporting Initiative「GRIサステナビリティ・レポートング・スタンダード」
- 日本規格協会「ISO26000:2010社会的責任に関する手引」

各種ガイドライン 対照表

 <https://www.lion.co.jp/ja/csr/guideline/>

対象組織

ライオン株式会社およびすべての連結子会社を基本としています。
※掲載する活動やデータについて対象範囲が異なる場合は、個々にその旨を明記しています。

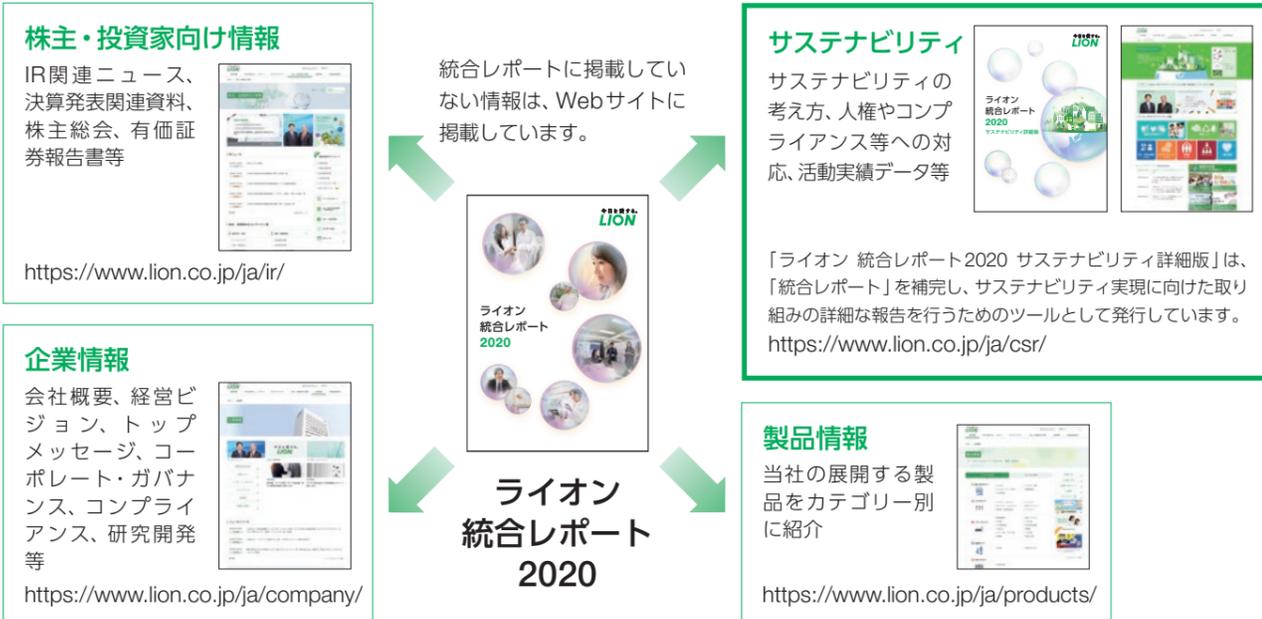
対象期間

2019年1月1日～2019年12月31日
※ただし、活動内容は一部2020年の取り組みを含んでいます。

発行日

2020年6月

情報開示体系



目次

ライオンのサステナビリティ

- 3 ライオンが取り組んできた社会課題の歴史
- 5 ライオンのサステナビリティ
- 7 サステナビリティ重要課題と2030年目標
 - サステナブルな地球環境への取り組み推進
 - 健康な生活習慣づくり
- 13 2020年サステナビリティ重要課題 目標の進捗

ISO26000中核主題

- E** 17 環境 
- 23 人権 
- 25 労働慣行 
- S** 30 公正な事業慣行 
- 32 消費者課題 
- 36 コミュニティへの参画および発展 
- G** 39 組織統治 
- 42 外部からの評価／社外団体への参加

